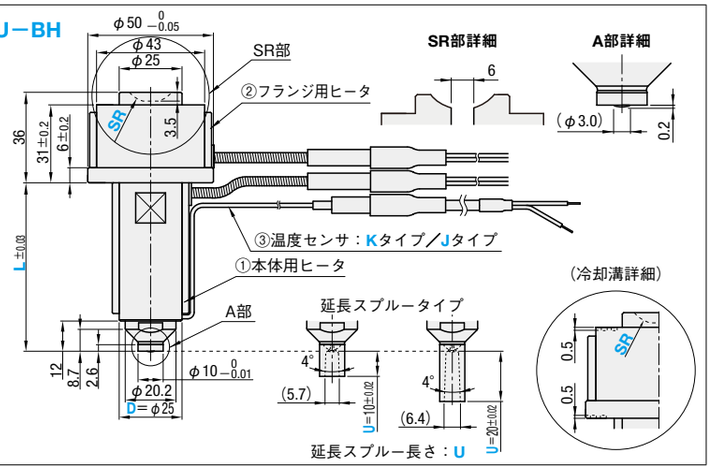
ホットスプルー

■ホットスプルー（本体＋①本体用ヒータ ＋②フランジ用ヒータ ＋③温度センサ）

HRU－BH



フランジ用ヒータ 電圧(V)	フランジ用ヒータ 容量(W)	本体用ヒータ 電圧(V)	本体用ヒータ 容量(W)	型式 Type	型式 D	L	温度センサタイプ	SR	延長スプルー U
240	350	240	350	HRU－BH	25	47	K (Kタイプ)	11	10
						67			
			400			87	J (Jタイプ)	16	20
						107			

温度センサの種類にはKタイプとJタイプがあります。コントローラの仕様に応じて選択してください。
延長スプルー無しの商品に延長スプルーを後から付け替えることはできませんので、ご注意ください。
延長スプルー無しの場合、Uの指定は不要です。
取り付け方法に関しては、P.708をご参照ください。

Order 注文例

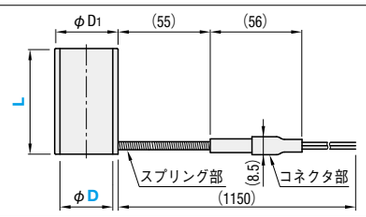
型式	L	温度センサ	SR	U
HRU－BH25	47	K	SR11	
HRU－BH25	67	J	SR16	U10

Delivery 出荷日　5 日目出荷

①本体用ヒータ

RoHS10

HRH－PHS



ヒータ常用温度：0～399℃
コネクタ耐熱温度：200℃以下

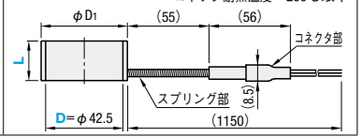
電圧(V)	容量(W)	D1	HRU－BH本体L寸対応	型式 Type	型式 D	L
240	350	30	47	HRH－PHS (本体用ヒータ)	25	30
			67			50
	400	31.5	87			70
			107			90

②フランジ用ヒータ

RoHS10

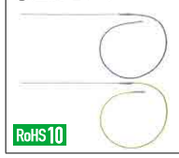
HRF－PHS

ヒータ常用温度：0～399℃
コネクタ耐熱温度：200℃以下



電圧(V)	容量(W)	D1	型式 Type	型式 D	L
240	350	47	HRF－PHS (フランジ用ヒータ)	43	19

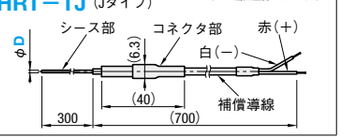
③温度センサ



RoHS10

HRT－TK (Kタイプ)
HRT－TJ (Jタイプ)

シース常用温度：0～399℃
コネクタ耐熱温度：200℃以下



補償導線(色)	型式 Type	型式 D
青色	HRT－TK (Kタイプ)	1.5
黄色	HRT－TJ (Jタイプ)	

温度センサの種類にはKタイプとJタイプがあります。コントローラの仕様に応じて選択してください。

Order 注文例

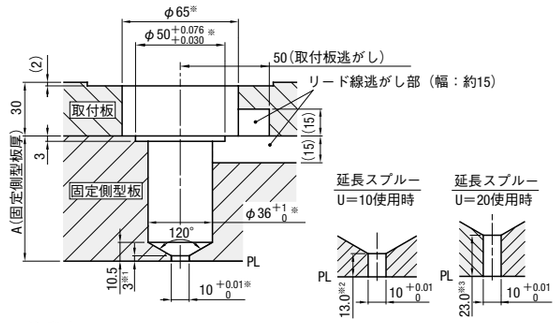
型式	L
HRH－PHS25	30
HRF－PHS43	19
HRT－TK1.5	
HRT－TJ1.5	

Delivery 出荷日　5 日目出荷

■取り付けについて

●取り付け加工例（参考図）

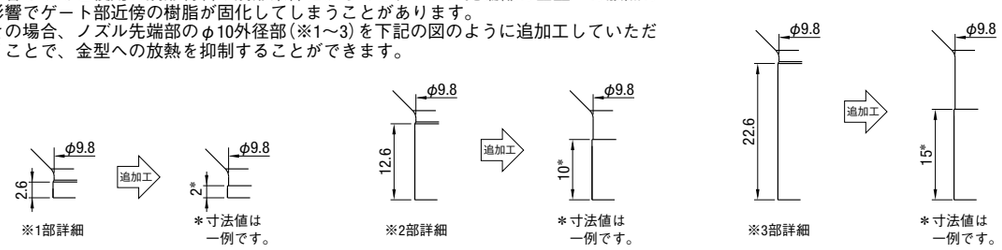
取付板および固定側型板へ下記のように加工し、ホットスプルーを設置してください。
ホットスプルーのフランジ部分を固定側型板堀り込み部へインローし、ロケートリングと型板で挟みこんで固定してください。ロケートリングは、LRSS（P.702）をご使用ください。

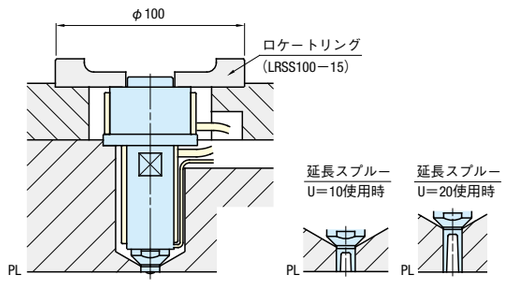


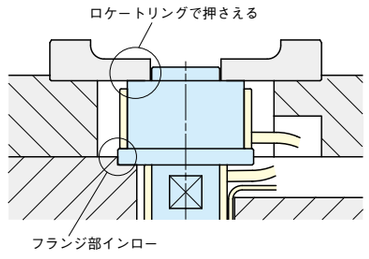
金型加工寸法
※穴加工の同軸度は0.03mm以下で加工してください。

型式 Type	D	L	A (固定側型板厚)	延長スプルー使用時 A(固定側型板厚) U10	U20
HRU－BH (ホットスプルー)	25	47	50	60	70
		67	70	80	90
		87	90	100	110
		107	110	120	130

※注意点
お客さまでご使用の成形材料や成形条件によっては、ノズル先端部の金型への放熱の影響でゲート部近傍の樹脂が固化してしまうことがあります。
その場合、ノズル先端部のφ10外径部（※1～3）を下記の図のように追加工していただくことで、金型への放熱を抑制することができます。

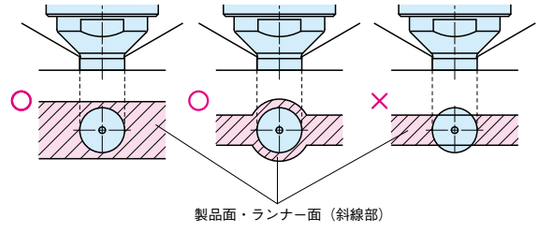
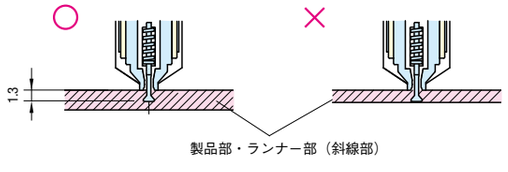






●取り付け上の注意点

- ゲートはφ10以上の製品面（ランナ面）に設定してください。
  ゲート先端面がコア側にあたると、ノズル破損のおそれがあります。（右図参照）



- ゲート先端部は、射出圧により1.3mm押し出される構造になっていますので、ゲート部の製品肉厚（樹脂の厚み）は、1.3mmより厚く設定してください。
  樹脂肉厚が薄くコアにノズルがあたると破損するおそれがあります。（右図参照）